

**製品名: NMDAR1 (5R10) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe14756**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000, ICC/IF 1:20-1:50
分子量	105kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GRIN1
別名	GluN1; NMD-R1; GRIN1; NMDAR1
遺伝子 ID	2902.0
SwissProt ID	Q05586
免疫原	ヒト NMDAR1 の合成ペプチド

**背景**

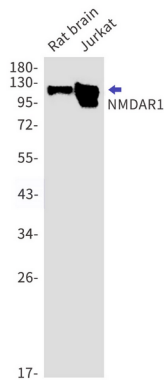
N-メチル-D-アスパラギン酸受容体 (NMDAR) は、少なくとも 1 つの NR1 サブユニットと 1 つの NR2A-D サブユニットからなるヘ

テロ二量体を形成する。NR1 転写産物の選択的スプライシングと NR2 サブユニットの差次的発現によって、脳分布と機能特性が異なる複数の受容体アイソフォームが産生される。NMDA 受容体複合体の構成要素であり、ヘテロ四量体のリガンド依存性イオンチャネルとして機能し、高いカルシウム透過性とマグネシウムに対する電位依存的感受性を示す。チャネルの活性化には、神経伝達物質グルタミン酸がイプシロンサブユニットに結合し、グリシンがゼータサブユニットに結合すること、そして Mg(2+)によるチャネル阻害を解除するための膜脱分極が必要である (PubMed:7685113、PubMed:28126851、PubMed:26919761、PubMed:26875626、PubMed:28105280)。グルタミン酸に対する感受性とチャネル動態はサブユニットの構成に依存する (PubMed:26919761)。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



NMDAR1 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脳、Jurkat 細胞溶解物中の NMDAR1 のウエスタンブロット検出。